

1. 授業の概要(ねらい)

後期のテーマは『路傍の石』を読む——見習職工から独立開業へ」。前期と同じく山本有三『路傍の石』（改版・新潮文庫）をテキストに用いて、戦前の職業世界と勤労青年問題を学ぶ。後期はとくに小説の後半（東京編）から職業と人生にまつわる様々な問題を読み解く。

2. 授業の到達目標

- ・戦前の職業世界と勤労青年の問題を制度やデータにもとづいて説明することができる。
- ・登場人物の心理と行動を、背景となる制度や構造と関連づけて説明することができる。
- ・テキストと授業をふまえて、レポートを作成できる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・平常点(20%)
- ・小テストや小課題(30%)
- ・期末レポート(50%)

4. 教科書・参考文献

教科書

山本有三 路傍の石(改版・新潮文庫版) 新潮社

5. 準備学修の内容

- ・『路傍の石』前半(地元編)は事前に読んでおくこと。
- ・小説の中の歴史的な出来事や用語について調べてくる宿題を課す。

6. その他履修上の注意事項

- ・第2回以降の欠席回数が5回を超えた場合、期末レポートを受理しないので注意すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 前期のおさらい(1)——前半(地元編)のあらすじ
- 【第3回】 前期のおさらい(2)——高等学校卒業後の進路
- 【第4回】 後半(東京編)を読む(1)——下宿屋の小僧
- 【第5回】 後半(東京編)を読む(2)——おともらいかせぎ
- 【第6回】 後半(東京編)を読む(3)——印刷所と文選見習
- 【第7回】 後半(東京編)を読む(4)——文選工から社員へ
- 【第8回】 後半(東京編)を読む(5)——速記者への転職、出版社設立
- 【第9回】 昭和10年代の時代背景(1)——徒弟制度の揺らぎ
- 【第10回】 昭和10年代の時代背景(2)——勤労青年不良化問題
- 【第11回】 昭和10年代の時代背景(3)——資本主義と社会主義
- 【第12回】 振り返り、期末レポート課題について
- 【第13回】 期末レポートの進捗報告
- 【第14回】 期末レポートの提出、発表
- 【第15回】 期末レポートの講評(※LMSの授業ファイル、およびツイキャスによるラジオ配信)